

# 主要事業評価シート(第1次実施計画/H29・30・31年度)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	産業建設部
	17018	橋梁長寿命化修繕事業	課名	土木課 施設保全G
	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上	財	会計 01:一般会計
	基本施策	04:道路の保全・整備	務	款 08:土木費
	施策の方向	04:道路施設の適切な維持管理	科	項 02:道路橋梁費
戦略プロジェクト	-	目	目 06:橋梁維持修繕費	
事業予定期間	H 27 ~ H - 年度	主な根拠法令要綱等	道路法・道路構造令・道路橋示方書	

② 目的・概要	対象	道路利用者
	目的	対処療法的な修繕から、計画的かつ予防保全的な修繕に転換し、安全で安心な道路サービスの提供を行うとともに、橋梁の耐用年数の延長「長寿命化」、修繕に要する経費のコスト縮減に努めるものである。
概要	平成23年度に策定した長寿命化修繕計画に基づき、市が管理する橋長15m以上の橋梁(114橋)の補修を計画的に進める。	

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	
③ 事業の計画・実績	年度計画	○補修設計 ・小谷跨道橋、立谷橋、住山橋、西中谷橋	○補修設計 ・筆捨橋、星田橋、北山橋、布気跨道橋  ○補修工事 ・高飛大橋、太岡寺ばんだ橋、忍山橋、小谷跨道橋、立谷橋、住山橋、西中谷橋	○補修工事 ・市瀬橋、星田橋、北山橋、布気跨道橋、久我橋	
	年度実績	補修設計 小谷跨道橋、立谷橋、住山橋、西中谷橋			
事業費	計画額	事業費	8,000千円	90,000千円	85,000千円
		国庫支出金	4,400千円	49,500千円	46,750千円
		県支出金			
		地方債	3,200千円	36,400千円	34,400千円
		その他			
	予算額	事業費	8,000千円	90,000千円	
		国庫支出金	4,400千円	49,500千円	
		県支出金			
		地方債	3,200千円	36,400千円	
		その他			
決算額	事業費 ①	7,529千円			
	国庫支出金	4,140千円			
	県支出金				
	地方債				
	その他				
人件費	一般財源	400千円	4,100千円	3,850千円	
	総人件費 ②	614千円			
	一般職員	614千円			
	所要人員	0.08			
	臨時職員等	0千円			
総コスト(①+②)		8,143千円			
受益者負担率		0.0%			

				平成29年度	平成30年度	平成31年度	
④ 指標	①	名称 長寿命化修繕工事済み橋梁数(累計)	活動	計画値 実績値 単位	6 6 橋	13  橋	18  橋
			②	計画値 実績値 単位			
			③	計画値 実績値 単位			

⑤ 事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 河川に渡架している橋梁工事については、濁水期の工事の制約を受けることから、前年度から事前協議を行うことで9月の発注に向け準備を行っていく。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 平成29年度事業は、高速道路を高架する橋梁修繕詳細設計であったため、設計業務の要所で高速道路管理者と修繕工法・交通規制などについて協議を重ねて、次年度以降の工事発注の準備を行った。

		評価	(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 東名阪自動車道・伊勢自動車道を高架している橋梁補修設計業務であり、設計業務の要所で高速道路管理者と協議を実施出来た。	A  計画どおり実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 東名阪自動車道・伊勢自動車道を管理している管理者(桑名・津)とそれぞれに設計協議を行えた。	A  十分な成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 過年度までは、高速道路の高架橋修繕工事を受託工事として高速道路管理者に依頼していたが、同様工事が他の自治体にもあり道路管理者への依頼が多方面から受けており、「修繕本体工事+交通規制業務」の一括受託依頼が困難となる。	今後の方向性  <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 【その他の場合、その内容を記載】
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 今後も高速道路管理者と密な協議を重ねて、工事実施年度においては「修繕本体工事は亀山市単独発注、交通規制業務は高速道路管理者受託工事」と分割発注の検討を行う。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 高速道路管理者の受託工事に依存することなく、事業の進捗を向上させる。	
対応時期		交付金内示決定時及び補正予算時	

【1次評価者】	産業建設部 土木課 施設保全グループリーダー 宮崎 伸二
【最終評価者】	産業建設部 土木課長 服部 政徳